2015 年度 小委員会活動成果報告

(2015年2月5日作成)

小委員会名	居住性能評価指針改定小委員会	主 査 名: 横山 裕 就任年月: 2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	委員長名 :羽山広文 主 査 名 :国松 直
設置期間	2015年4月 ~ 2018年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・建築物の振動に関する居住性能評価指針改訂案の策定	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無:無主査:横山 裕 (東京工業大学)幹事:松本泰尚 (埼玉大学)委員:安藤 啓 (安藤環境コンサルタント),石川孝重 (日本女子大学),井上勝夫 (日本大学),国松 直 (産業技術総合研究所),志村正幸 (建設環境研究所),鈴木雅靖 (鹿島建設),野口憲一 (近代建築保存技術研究室),濱本卓司 (東京都市大学)	
設置 WG (WG 名:目的)	性能評価法検討 WG (既往の知見に基づく居住性能評価指針改訂案の具体的提案)	
2015 年度予算	ホームページ公開の有無:有 50,000 円 委員会 HP アドレス: http://news-sv. aij. or. jp/kankyo/s17/sub-	committee6_guideline/AIJ_EVSC6index.html

項目	自己評価	
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画		
大会研究集会		
対外的意見表明・パ ブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	既往の知見に基づいて、居住性能評価指針改訂の基本構想を具体的に提案した 第 34 回環境振動シンポジウムにおいて「居住性能評価指針改訂について」と題 して、改訂の具体的方針について説明し、広く意見を募った	
委員会活動の問題点 ・課題	特になし	

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	当初の目的通り、居住性能評価指針の改定方針をほぼ固め、具体的な改定案作成作業に着手した。また、2015 年度環境振動シンポジウムにて改訂方針を一般会員に周知し広く意見を募るとともに、改訂作業の途中経過を報告する機会として2016 年度大会にて PD を開催することとした。

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、 小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。

A評価:小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度

B評価:小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度

C評価:小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度

D評価:小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度

● 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集 した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。